

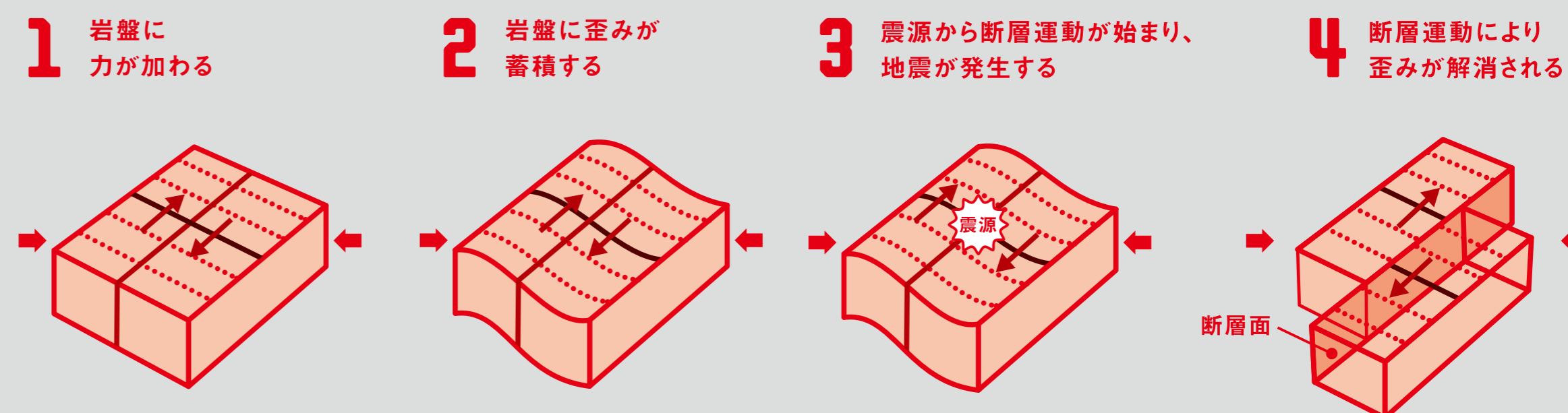
活断層型地震の発生原理

Mechanisms of Active-Fault Earthquake Occurrence



プレートに働くさまざまな力は、
歪みひずとなって内部にたまる。その
力に耐え切れなくなると弱い部
分がずれ動き、地震が発生する。
この地震を「活断層型地震」また
は「内陸型地震」という。また、
このとき生じる地層や岩盤のず
れを断層だんそうといい、過去数十万年
前以降に繰り返し活動し、将来
も活動すると考えられる断層を
活断層きたいずという。北伊豆地震や兵
庫県南部地震などが、活断層型
地震によるもの。

活断層型地震発生のしくみ (右横ズレ断層の例)^{*1}



北伊豆地震で生じた 丹那断層

注: 「断層」とは、地層、岩石が割れてできた面のうち、その面を境にして両側に地層、岩石がずれているもの



^{*1} 地震調査研究推進本部「地震がわかる!Q&A」を加工して作成